



5月の予定

2023年4月21日

野毛山幼稚園

月主題 月のねがい

主題	年少すずらん組	年中ゆり・年長スイトピー組
動き出す	日常生活の中で保育者や友だちと賛美し祈り、神さまを身近に感じる。	祈りや聖書の話、賛美を大切にし、神さまがいつも一緒にいてくださることを喜ぶ。
	新しい環境や関わりに安心して、いろいろなことをやってみる。	やってみたい遊びに自分から動きだし心を向ける中で、友だちや保育者と共に過ごすことを喜ぶ。
	自然の中で心を開放し、心地よさを感じながら動き出す。	身近な自然（風、光、水、泥、土、草花、虫等）を心地よく感じ、見たり、触れたり、試したりする。

主よ、お話しください

しもべ
僕は聞いております。



サムエル記上3章9節

ハンナは、神さまに祈り続けて授かった子どもにサムエル（神は聞いてくださるという意味）と名付けました。「子どもが授かったら、神さまに仕えるものとします」と神さまと約束をした通り、幼い頃から祭司エリのもとに預けました。サムエルが神殿で寝ているとサムエルを呼ぶ声がしました。サムエルは「ここにいます」と応えてエリのもとに走っていきました。けれども、エリは「私はお前を呼んでいない。戻っておやすみ。」サムエルはそう言われ、ベッドに戻り、眠りにつきました。すると、また「サムエル」と呼ぶ声がします。再びサムエルはエリのもとに行きましたが、その時もエリは「私はお前を呼んでいない。戻ってお休み」と言いました。するとまた「サムエル」と呼ぶ声がしたので、サムエルはまたエリの所に行きました。三度もサムエルが声を聞いてきたので、もしかしたら神さまがサムエルを呼ばれたのかもしれないとエリは思い、「戻って寝なさい。もし、また名前を呼ぶ声がしたら、『どうぞお話しください。僕は聞いております』と答えなさい。」と伝えました。まもなく、「サムエル」と呼ぶ声がしました。

サムエルはエリに言われた通りに「どうぞお話しください。僕は聞いております。」そう言うと、神さまはサムエルに語られました。その時主が語られたのは、自分が父親のように一緒に暮らしているエリとその息子たちへの厳しい言葉でした。悪いことを「悪い」とはっきり言わないことへの裁きの言葉でした。朝になって、神さまは何と言われたかをエリに聞かれたサムエルは、そのことをエリに伝えます。人に話すのがつらいこと、重く厳しい内容の言葉でも、サムエルは勇気をもって伝える預言者になるよう、成長していきます。

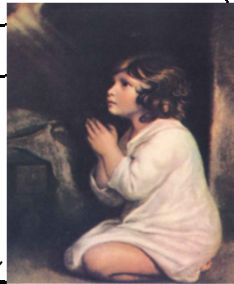
神さまは私たちひとりひとりにも語りかけてくださっていますが、けれども、それが、いつ、どのような形で語ってくださるかはわかりません。またその話が自分にとってやりたくなかったり、できなかつたりすることがありますが、神さまのみ心を知り、いつも一緒にいてくださることを覚えて勇気をもって歩んでいきましょう。


予定	日	曜	予定	備考
	1	月	ランチ始まり(年少組)	
	3	水	憲法記念日	休園
	4	木	みどりの日	休園
	5	金	こどもの日	休園
	10	水	母の日の集い(年少すずらん組)	9時20分 年少はランチなし
	11	木	母の日の集い(年中ゆり組)	9時20分
	12	金	母の日の集い(年長スイトピー組)	9時20分
	17	水	5月誕生会	11時30分降園
	24	水	親子遠足(根岸森林公園) 予備日 26日(金)	現地集合現地解散 詳細後日
	31	水	ランチあり 13時降園	

こひつじ 平常通り



少年
サムエル



年少(すずらん組)	年中(ゆり組)	年長(スイトピー組)
保育者や友だちと遊ぶ中で安心感を持つ。 自分でできる身の周りのことは自分で行う。 手遊び、歌、ダンス、体操などみんなでする活動に喜んで参加する。 お母さんの日を知る。 お母さんの仕事を知る。 バードウィークを知る。 身近な動植物に親しむ。 友だちと一緒にランチを食べる。 食事の習慣を身につける。 (食前のお祈り・挨拶・食事の仕方・食休み等) 遠足に元気に参加して、楽しむ。	春の自然を感じながら遊ぶ。 固定遊具の安全な使い方を知り、園内のルールを守って遊ぶ。 お母さんの日を知る。 お母さんについて話し合ったり、プレゼントを作ったりする。 お母さんと一緒に礼拝し、遊ぶ。 バードウィークを知る。 身近な動植物に親しむ。  ルールのある遊びに参加し、楽しんで遊ぶ。 音楽にのって体を動かす心地よさを味わい、動きを楽しむ。 遠足に元気に参加して、楽しむ。	春の自然を感じながら遊ぶ。 図鑑を見て不思議なことを調べたりする。 母の日について考え、プレゼント作りをする。 お母さんへ感謝の気持ちを表す。 月刊絵本を楽しむ。 集団遊びを楽しむ。 (かごめかごめ・なべなべ・猛獣狩りなど) バードウィークを知る。 友だちと遊びのイメージを共有しながら継続した遊びを楽しむ。 遠足に元気に参加して、楽しむ。

